

FFG 特別企画

2013 年秋。



“ななつ星”が九州で輝きはじめます。

かつてない豪華クルーズトレイン“ななつ星 in 九州”。そこには異次元の空間があります。極上のくつろぎを求めて、贅と美をふんだんにあしらひ、洗練された品格漂う車内。車窓から流れゆく風景もまた格別。すべての喧騒を忘れさせる列車の旅。それは乗客の皆様のところに永遠に残ることでしょう。

“ななつ星”は、九州7県を意味すると共に、九州の主な7つの観光資源（自然、食、温泉、歴史文化、パワースポット、人情および列車）そして7両編成の客車を表現しています。

“in 九州”に込められた「世界に誇れる観光資源を有する九州」の7つの星の輝きを存分に楽しみましょう。

7つの星を結ぶのは3,000 kmに及ぶレール。さあ、まだ見ぬ日本へ。旅立ちましょう。

CRUISE TRAIN
SEVEN STARS
IN KYUSHU





“ななつ星”のコンセプト

全国的には廃止が相次ぐ寝台列車にJR九州があえて新規参入したのは、日本初の「陸のクルーズ旅行」という新しい旅のスタイルを生み出し、九州の素晴らしい観光資源を世界に発信することが目的です。

豪華寝台列車といっても、列車の旅の魅力を満喫するコンセプトであるトワイライトエクスプレスやカシオペアなどとは一線を画します。“ななつ星”は、列車の旅を楽しむだけではなく、九州の主な駅で長時間停車し、多彩なイベントを体験できるのが特徴です。【旅行日程は後述】

例えば、由布院など人気エリアの散策のほか、専用バスでの観光や、選りすぐりの宿での宿泊も用意されています。もちろん、食事はその土地で厳選された旬の食材が楽しめます。つまり、「列車・おもてなし・地の恵みのオール九州でお客様をお迎えする」というコンセプトです。決して富裕層ビジネスではなく、九州の魅力を発信するための列車であり、名前のとおり、九州7県という“ななつ星”が持つ観光資源をひかり輝かせるのが目的です。

CRUISE TRAIN
SEVEN STARS
IN KYUSHU



▲由布岳



▲青島神社



▲磯庭園より望む桜島

“ななつ星”のデザインは

みとおか えいじ

水戸岡鋭治先生の集大成

JR九州は、分割民営化後、「ゆふいんの森」

「つばめ」「ソニック」など旧国鉄時代にはなかつ

たお洒落な車両を次々と生み出してきました。

工業デザイナーの水戸岡鋭治先生の斬新なアイ

デアにより、それまでの効率性と採算性重視と

いう鉄道車両の常識を覆しました。それは、色、

形、素材そしてサービスの既成概念を壊す、いわ

ば鉄道のタブーとの闘いでもありました。座席

数を抑え、ゆったりとくつろげる客席をつくり、

内装材には木や本革などメンテナンスに手間の

かかる自然素材を多用しています。

水戸岡先生の「経済のソロバンではなく、心の

ソロバンをはじく」という信念が生み出すアイデ

アが、鉄道ファンの感性に響き、観光列車の乗車

率は軒並み上がり、廃線寸前の九州のローカル

線が救われた例も少なくありません。



CRUISE TRAIN
SEVEN STARS
IN KYUSHU



水戸岡先生のアイデアは車両のみならず、駅舎、駅ビル、乗務員の制服に至るまで浸透しており、乗客の皆様喜んでいただけてだけでなく、そこで働く社員のモチベーションアップにもつながっているとのこと。

今回の「ななつ星」は、こうした数々のヒット作を生み出してこられた水戸岡先生のデザインの集大成ともいえる「傑作」です。

贅を極めた

“ななつ星”の

車両

それでは、“ななつ星”の車両をご紹介します。
デザインテーマは「和と洋、新と旧との融合」です。

客室はすべてがスイートルームで、7両編成の列車にわずか14室という贅沢なつくりとなっています。

客室の内装には天井から壁、床に至るまで、ヒノキ、サクラ、ウォールナット（クルミ）など高級感溢れる無垢の木材がふんだんに使用され、木の香りと美しい木目が極上のくつろぎを与えてくれます。ソファ等には西陣織や博多織を使用。家具は全国一の産地である福岡県大川の職人による特注の木工芸品。特筆すべきは壁一面に敷き詰められた優雅な織細美を誇る「大川組子」（おかわくみこ）（釘を使わず、木と木を組み付けて作る建具の装飾）です。ランプシェード、洗面鉢、一輪挿しには、

有田焼の匠、三右衛門（柿右衛門・今右衛門・源右衛門）の逸品を用いるなど、九州・日本の伝統工芸を駆使しています。廊下にも、絵画や彫刻などが並んでおり、列車全体が、まるで美術館のような雰囲気仕上がりとなっています。

ベッドに合わせて通常よりも低く設置された窓も日本唯一のもので、車窓から流れゆく夜景や星空を寝ながら眺められるよう工夫されています。

シャワーも最初から温水が出るように配慮し、メーカーと共に一から設計されています。

幸い、九州は家具、陶器から水周り用品に至るまで全国を代表する企業・職人の宝庫で、“ななつ星”の列車製造にはこうした方々の全面的なご協力があり、匠の技が随所に活かされています。

また、車体には振動を抑制する特殊装置を備え、目に見える部分の9割を占める木材で列車内の反響を吸収し、かつてない静かな乗り心地を追求しています。さらに就寝時間帯は走行速度を時速50kmに抑えることで、快適に休める様、配慮されています。

ダイニングカーでは、各地の空気が感じられる仕掛けが随所に施されています。食事には最も

こだわりの目玉の一つとして、JR博多駅出発後の昼食には、福岡市の有名寿司店「やま中」の大将が列車に乗り込み、握り立ての寿司が提供されます。由布院では、高級旅館「山荘無量塔」（むらた）のスィーツ、宮崎では郷土料理店「杉の子」の昼食など、厳選された地元の名産の食材や名酒を楽しめるのももちろん、車内の飲料水も、移動に合わせてその土地の名水に変更されます。使用する食器類も同様です。佐賀の有田焼を筆頭に、大分の小鹿田焼^{おんた}、鹿児島島の薩摩焼といった具合に、車内にいながらその土地を感じられるよう工夫されています。

ラウンジカーは、乗車されたお客様の「走る社交場」です。昼は休息場、夜はバーとなります。車両の最後部には、天井から床までの一枚ガラスの窓があり、九州の大自然をパノラマで満喫することが出来ます。ピアノの生演奏を聴き、満天の星空を眺めながらの至福の一杯は、また格別です。

車内に散りばめられた最新設備と日本の伝統工芸品の織り成す極上の居心地は、欧州のオリエント急行にも決して劣らない仕上がりとなっています。

CRUISE TRAIN SEVEN STARS IN KYUSHU



①



②



③



④



⑤



⑥

①1号車のラウンジカー
②スイートルームは1両に
3部屋ずつ設けられ、各
部屋にはシャワー・トイ
レ・空調が完備されている
③通路に施された大川の
家具職人による組子細工
④2号車ダイニングカー
にはカウンターの茶室も
⑤1号車のラウンジカー
ではピアノの生演奏も行わ
れる⑥各客室に設置された
柿右衛門窯による洗面鉢

“ななつ星”専用 バスやクルーも 特別仕様

立ち寄り駅での周辺観光の際に使用する専用バスも水戸岡先生がデザインした「特別仕様」です。JR九州の大型バスをベースに、ゆったり座れるように座席数を従来の45席から32席に減らし、後方にパウダールームとトイレも完備されています。また、天井から床まで木がふんだんに使用され、内外装とも“ななつ星”と共通したデザインで統一することで、バス観光中も沿道から一目で“ななつ星”とわかる特別感と豪華な演出に浸ることができます。

“ななつ星”に乗務してサービスを提供するク



CRUISE TRAIN SEVEN STARS IN KYUSHU

ルも「特別仕様」です。社内から選抜された12名と、航空会社の客室乗務員やホテルスタッフなど外部から登用された13名の総勢25名は、有名旅館・ホテル、東京ディズニーリゾートなどで1年間という長期の研修を積み、最上級のおもてなしでお客様をお迎えいたします。

専門クルーの洗練されたサービスに心^{ゆた}委ね、客室で、ラウンジで日常の喧騒を忘れ、旅人の気分^{きぶん}に浸り、各地の器で多様な食材を味わい、五感で九州を感じられる列車旅。それが「ななつ星」の提案する新しい旅のスタイルです。

▼除幕式(小倉総合車両センター)



コースの（）説明

コースは2つ用意されています。いずれのコースも抽選倍率が8〜9倍と人気が高く、既に来年6月まで予約は一杯です。

● 3泊4日コース

3泊4日のコースは、福岡・大分・宮崎・鹿児島・熊本の5県を周遊します。この旅は、主な駅で停車することにより特別に企画されたバス観光列車滞在を体験するのが魅力です。

例えば1日目最初の停車駅、由布院では、散策か列車でのアフタヌーンティーを選択。列車ダイニングでの夕食後は、車内で過ごし、太陽の国、宮崎の美しい朝日でお目覚め。朝食後は、宮崎神宮、青島神社をバスで巡る観光か、列車移動かを選ぶという具合に、お客様の旅を作ることができます。

また、2泊目は列車を降りて専用バスで霧島へ向かい、デラックススイートのお客様は一泊15万〜20万円相当の超高級リゾートである「天空の森」に、スイートのお客様は一泊3万〜6万円相当の「忘れの里雅叙苑」や「妙見石原荘」といった九州屈指の宿に宿泊。一度は泊まってみたい名旅館で過ごす一夜も、また忘れ難い思い出になります。

3日目は鹿児島島に移動して島津家の別邸跡地である仙巖園の散策か、薩摩焼で名高い沈壽官窯で絵付け体験と、年に一度しか公開されない茶室でのお茶の振る舞いが用意されています。夕食は仙巖園で島津斉彬やその養女篤姫が味わったであろう島津家伝統の大名料理を堪能できます。

旅のフィナーレを飾る4日目は熊本・阿蘇から。駅の一角にしつらえられたガラス張りのガーデンレストランで、朝食を。阿蘇くやまなみハイウェイ・黒川温泉のバス観光か、大分駅を経由する列車滞在プランを選んで1日を遊んだら、旅の最後は列車内でフェアウエルパーティー（お別れのパーティー）が行われます。そして、ななつ星は一路、終着地、博多を目指します。

● 1泊2日コース

1泊2日コースは、長崎と阿蘇、由布院といった北部九州を周遊します。土曜日出発で、週末に気軽にかけられることから若い世代の方にも人気があります。

1日目、列車は博多から佐賀へ。のどかな景色を眺めながら、佐賀の旬の食材を味わえるランチを車内でお召し上がりいただきます。長崎駅で下車した後、初日のメインは異国情緒あふれる長崎さるく。「さるく」とは、ぶらぶら歩くという長崎の方言です。大陸に開かれた港町をさるくながら、歴史に思いを馳せるひととき

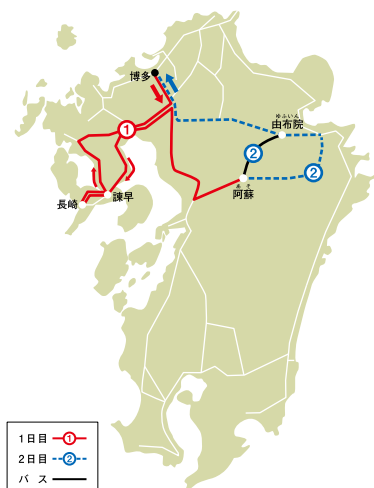
を。夕食は、西洋料理をダイニングカーで。食後は満天の星空の下、列車で過ごすバータイムを堪能できます。

2日目、朝の目覚ましは、熊本・阿蘇の大自然からのぼる朝日。朝食は阿蘇駅に特設されたガーデンレストランで。その後、列車は車窓に阿蘇の雄大な景色をうつしながら大分へ。昼食は車内で大分の郷土料理を。そして終着地、博多へ。

（取材協力…九州旅客鉄道株式会社）

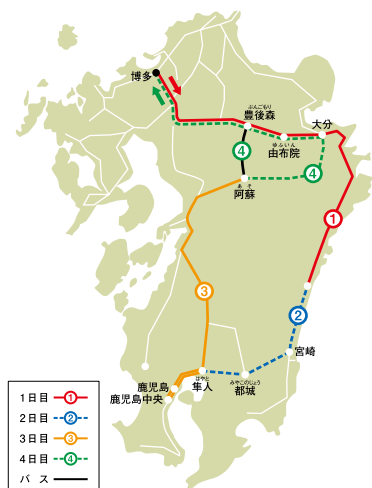
1泊2日コース

155,000円〜227,000円
(2名1室ご利用の場合)



3泊4日コース

391,000円〜566,000円
(2名1室ご利用の場合)



CRUISE TRAIN
SEVEN STARS
IN KYUSHU



クルーズトレイン

ななつ星 in 九州



ななつ星が、あなたをお待ちしています。